データ作成時の注意 (インデザインCS~CS4)

裁ち落とし設定

裁ち落としとは

裁ち落としの領域は原則的に仕上がりの断裁時に切り落とされる部分ですが、断裁時に紙のズレが発生した場合の 予備(塗り足し※後ほど詳しい説明します。)の領域です。

裁ち落としの領域がないと、断裁時に紙がずれた場合に(何も印刷されていない)紙色が出てしまいます。断裁は1枚 1枚断裁するわけではなく、数百~千枚の紙を機械で押さえてまとめて断裁します。このため断裁時にわずかにずれ る場合があります。

新規にドキュメントを作成する場合。

「ファイル」→「新規」→「ドキュメント」を選択します。

ファイル編集レイ	注釈 >	オブジェクト 表 表示	新規ドキュメント
新規 開く… 参照… 最近使用したファイノ	₩0 \\	ドキュメント テンプレートからドキ ブック ライブラリ	ページ数: 1 □ 見開きページ □ マスターにテキストフレーム 基本設定 □ ページサイズ: A4
閉じる 保存 別名で保存 チェックイン 複製を保存	₩₩ ₩S		幅: ÷210 mm 方向: 前 函 高さ: ÷297 mm 綴じ方: A ■ 載5落としと印刷可能領域
復帰			天 地 左 右 裁ち落とし: 3 mm 3 mm
<u> 栽 t 茲 とし (52mm と i</u>		$\Sigma \star i \lambda$	ドキュメント作成方法: (キャンセル) レイアウトグリッド… マージン・段組…

裁ち落としに3mmと人力して下さい。

作成中のドキュメントに設定する場合。

「ファイル」→「ドキュメント設定」を選択します。

ファイル 編集 レイアウト 書式 注釈 オ	ドキュメント設定
新規 開く ¥O 参照 ℃¥O	ページ数: 日 見開きページ 日 マスターにテキストフレーム
最近使用したファイルを開く ▶	─ ページサイズ: A4
閉じる	幅: 210 mm 方向: 0 高さ: 297 mm 綴じ方: A 国 裁ち落としと印刷可能領域
ドキュメント設定 て靴P	
ユーザ ファイル情報 て企業I	裁ち落とし:3mm 3mm 3mm 3mm 印刷可能領域:0mm 0mm 0mm 0mm

スクリーン設定

「表示」→「スクリーンモード」を選択します。



プレビューと印刷可能領域は選択しないで下さい。



※裁ち落としが見えなくなってしまいます。

表	表示 ウィンドウ ヘルプ		
2 -1	オーバープリントプレビュ	- て合光Y 🧧 🏭 [基本グリッド] 🛟	
5 -	校正設定		
	色の校正	160 180 200 22	
	ズームイン	¥=	
	ズームアウト	H -	
	ページ全体	¥0	
	✔ スプレッド全体	て第0	
	100% 表示	¥1	
	ペーストボード全体	飞企第0	
	スクリーンモード	▶ ✔ 標準モード	
	表示画質の設定	 → しビュー → 裁ち落としモード 	
	構造	▶ 印刷可能領域モード	/
	ハイパーリンクを隠す		

標準モードか裁ち落としモードを選択して下さい。



塗り足しを付ける。

写真やオブジェクトが仕上りサイズまで来る場合、微妙な用紙のズレや断裁時のズレにより白場が見えてしまう 事があります。それを防ぐため、仕上りのサイズより外側に上下左右 3mm 程、余分に写真やオブジェクトの幅を 広げておく必要があります。この部分を「塗り足し」といいます。データ作成時には必ず「塗り足し」をつけて 作成して下さい。



仕上りサイズでデータができている。 断裁時<mark>白</mark>が出てしまうおそれがあり。



塗り足しまでデータが作成されいる。

※断裁時の僅かな位置ズレにより、印刷仕上り範囲付近にある文字やデザインは切れてしまう可能性があります。 切れては困る文字やデザインは印刷仕上り範囲より2~3mm 程内側で作成して下さい

データ入稿時の注意



リンク画像、使用フォントの添付

インデザインで画像データを配置し、リンクさせてご入稿される場合は、必ず配置した画像を添付して下さい。 添付を忘れられると画像が抜けた状態もしくは荒れた状態で印刷されてしまいます。

使用フォントを添付してて下さい。当社にないフォントを使用されていると文字化け等のトラブルが発生しますので、 ご入稿の際、ファイルと使用フォント、リンク画像を一つのフォルダにまとめてご入稿下さい。